地域再生計画 事後評価の概要

1. 地域再生計画の概要

(1)地域再生計画の名称	岩手県北地域の産業・観光資源有効利活用による地域活性化計画
(2)地域再生計画の作成主体の名称	岩手県、一戸町、九戸村
(3)地域再生計画の区域	岩手県二戸郡一戸町及び岩手県九戸郡九戸村の全域
(4)計画期間	平成18年度から平成22年度
(5)地域再生計画の目的	

本計画区域(一戸町・九戸村)は岩手県の北部に位置し、雄大な自然に恵まれ、高原野菜や酪農、木炭、ブロイラーの生産が盛んな地域である。

しかし、近年同地域は過疎化・高齢化が進行し、併せて若者の流出による後継者不足等も問題で、産業の衰退及び地域活力の低下に繋がっている。

上記の問題に関係して、①中心市街地の衰退化、②観光客の減少、③各産業の低迷が挙げられ、本地域については、中心地や各施設へのアクセス条件が悪いことから、各施設が有効に活用されておらず、地域衰退の一因となっている。

このため、中心地・各施設・各集落と主要幹線道路をつなぐ町村道及び林道の効率的な整備により地域の交通ネットワークを構築し、 有効に利用されていない産業資源・観光資源を活用することで、地域の諸問題を解決する。併せてソフト的施策といった各関連事業を 展開することで、地域の活性化を図り、地域を再生させることとする。

(6)地域再生計画の目標

- (目標1)両町村の中心市街地へのアクセス短縮(20分到達圏の5%増加)
- (目標2)冬季の安全で円滑な交通の確保(冬季安全走行確保道路5.5kmの増)
- (目標3)新たな工業施設立地による新規雇用の促進(新規50人の雇用の創出)
- (目標4)各観光施設の活用促進(観光客の5%増加)
- (目標5)利用区域内における森林整備の促進(要整備森林面積の10%を整備)

(7)地域再生計画(道整備)の実績

町道鳥海線ほか6路線:延長 5,281m、総事業費 2,294,037千円

村道山屋勘丁線ほか1路線:延長3,013m、総事業費263,724千円

林道浪打姉帯線:延長 5,611m、総事業費 829,786千円

地域再生計画イメージ図

2. 目標の達成状況及び総評

(1)目標の達成状況					
目 標 内 容	目標値	実績値	達成状況	評価	
(目標1)両町村の中心市街地へのアクセス短縮(20分到達圏)	5%増	5.0%	達成	0	
(目標2)冬季の安全で円滑な交通の確保(延長)	5.5km增	5.7km	達成	\circ	
(目標3)新たな工業施設立地による新規雇用の促進	50人雇用	36人雇用	未達	\triangle	
(目標4)各観光施設の活用促進(観光客)	5%増	37.1%増	達成	\circ	
(目標5)利用区域内における森林整備の促進(整備率)	10%以上	443.1%	達成	\circ	

(2)総評及び今後の方向性

地域再生計画に基づく、平成18年度から平成22年度までの5ヵ年間で実施した事業により、目標である「中心市街へのアクセス短縮」、「冬季の安全で円滑な交通の確保」、「観光施設の活用促進」及び「森林整備の促進」について、目標を達成する効果が得られた。

その一方で、「工業施設立地による新規雇用の促進」については目標達成に至らなかったものの、事業実施により、工業施設立地による新規雇用の促進が図られたことから、一定の効果が得られた。

今後の方向性として、本計画区域が抱える多くの課題を解消するためにも、地域の重要なインフラである町村道及び林道などの道整備を引き続き推進していく必要がある。